

2学期始業式に、私の夏の小さなチャレンジを子供たちに伝えました。そして、私は57名全員の夏を知りたくて、「この夏のチャレンジやがんばったことについて、校長先生にお手紙を書いてください。」と伝えました。ちゃんと57名全員が自分の夏のチャレンジについて、お手紙を書いてくれました。一人一人の顔を思い浮かべながら、しっかり読みました。子供たちは、確実にこの一夏でも成長していると手ごたえを感じました。

そして9月に入ってからのこの3週間、多くの三崎町の方々が「町の先生」となって、子供たちの学習を支えてくださっています。5・6年生は、珠洲焼の粘土を使って作品を作りました。4年生は「引砂のさんによるもん」についてお話を聞き紙芝居作りに取りかかり、6年生は三崎中3年生から防災について教えてもらい、自分たちの学びにつなげています。5年生の「トキが舞う田づくり」として稲刈り体験、3年生の生き物観察、2年生の町探検で三崎公民館・みさき保育園訪問等、たくさんの方にお世話になっています。本校卒業生が現在大学で学んでいる縁で、10名の大学生と教授が来校し、4～6年生にプログラミング体験出前授業を行ってくれるというサプライズもありました。三崎の地域全体の力が感じられます。

皆様のおかげで、子供たちは地域の良さやあたたかさを、体験を通して感じ取っています。この後も、子供たちはどんどん町に出かけて行ったり、町の先生方に来ていただいたりしながら、学習を進めていく予定です。どうか、保護者の皆様、地域の皆様も今まで同様、ご理解、ご協力をお願い致します。

校長 角 みのり

「トキ舞う田」の稲刈り 9月19日

郷土



5年生が柚木 實さん(粟津)にお世話していただいている学校田の稲刈りをしました。この学校田では「トキ舞う田」に向けて減農薬で米作りを進めています。これまで5年生は田植えや継続的な稲の観察を行ってきました。当日は、白潟隆義さん(粟津)はじめ「トキの里 粟津」の皆様や、学校運営協議会、保護者の方々など、10名以上の皆様のご協力を得て、稲刈りからはざかけまで行いました。ほとんどの児童が稲刈りは初体験ということで不安もありましたが、皆様の手ほどきを受けながら、鎌が自分にあたらないように気をつけ、一生懸命に農作業に汗を流しました。準備やお世話をしてくださっている柚木さんはじめ関係の皆様、ありがとうございます。

全国学力学習状況調査・県基礎学力調査・市学力調査の結果概要

春に行われた全国学力学習状況調査、県基礎学力調査の結果と分析についてお知らせします。

本校の6年生は国語も算数も全国平均を上回るものの全国トップである県平均に少し及びませんでした。その他、理科では県平均を少し上回り、外国語では県平均に少し及びませんでした。4年生は県平均に対して国語も算数も9ポイント程度上回ることができました。全体的な傾向としては、文章のねじれ等の確認、複数の資料からの必要な情報を読み取って答えること、問題量への対応(時間不足で十分に回答できていない)等の課題が明らかとなりました。

また、質問紙調査では、「自己肯定感」・「家庭学習習慣」に関して課題が見られました。互いのよさを指摘し合う取組の推進や、保護者の皆様の協力を得ながらの家庭学習習慣定着に向けた取組推進を図っていきたいと思います。

校内夏休み作品展 入選

どの作品もそれぞれに工夫や努力があり力作でした!

1年 中村 汐杏	2年 和泉 絢心	3年 竹中 海琉	4年 清水 誠矢	5年 畠田 鈴穂	6年 泉 湧太
	権元 純礼	多田 百花	畠田 莉穂	藤波 悠人	菊谷 律
					竹上 知里

10月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
熱議 10時	・交通安全指導 ・全校朝会 ・後期縦割班発足 集会(4限目)	・スーパー見学 (3・4限目)3年生 ・防災学習 (13:45)6年生 ・トキ学習会 (14:00)5年生	・後期委員会発足 (6限目)	・授業参観 PTA 情報学習会 学級懇談会 給食試食会(1年保護者)	・オルガプラス演 奏会(13:45~)	
8	9 体育の日	10	11	12	13	14
				・修学旅行(~13日) [金沢・小松・能美 方面]5・6年生	・バス遠足 [輪島方面] 1~4年生	
15	16	17	18	19	20	21
	・交通安全指導				・芸術鑑賞教室	
22	23	24	25	26	27	28
	・いしかわ読書の日	・マラソン大会 (9:30~11:10)	・給食費引落日 ・委員会(6限目) ・マラソン大会予備日	・たんぼぼさんの 読み聞かせ		
29	30	31	熱議10月1日(日)午前10時~ みさき小ランチルーム 参加希望は三崎中(88-2423)まで。当日参加もOK!			

珠洲焼体験 9月4日

5・6年生が、米田初男さん(宇治)と鈴木吉彦さん(能登町)にご指導をいただき珠洲焼の作品(花瓶)作りをしました。米田さんには、粘土の準備から焼成までお世話して頂いています。お二人のご指導のもと、子供たちは粘土をこねながら思考をめぐらせ、一人一人の個性豊かな作品ができあがりました。地域の伝統工芸である「珠洲焼」に直接に触れる活動となりました。ご指導、ありがとうございました。



郷土

生き物観察会 9月8日

3年生が里山自然学校や「トキの里 粟津」の皆様のご協力のもと、今年度2回目の生き物観察会を行い、トキの里となることを願って粟津の自然環境について調べました。子供たちは、熱心に生き物を採取し、生き物をよく観察し、その特徴をとらえていました。そして今回と1回目の観察会(5月30日)で採取した生き物の種類や量と比較していました。今後の学習で、調査結果をまとめ、さらに考察を加え、「生きもの観察会取組報告会」(12月2日ラポルト)で発表します。



郷土

民話「さんによもん話」の授業 9月9日

「さんによもん保存会」の皆様や学校運営協議会の皆様のご協力を得て、濱田舜英さん(引砂)に4年生へ「さんによもん話」についての話をさせていただきました。とんちのきいた「さんによもん話」を濱田さんの絶妙な語りを通して聞きました。今後、4年生は「さんによもん話」の紙芝居づくりに取り組みます。



郷土

プログラミング体験出前授業 9月14日

星稜大学の清水和久教授とその研究室の皆さんが同研究室の本校出身の高野寿菜さん(粟津)のお世話により、プログラミング出前授業を4~6年生に行ってくださいました。ドローンやEV3(ロボット)操作をプログラミングで行いました。大学生の皆さんの支援のもと、子供たちは試行錯誤を繰り返しながら課題を見つけ、友だちと協力し合って、粘り強く解決していました。その姿は、主体的な学習の姿そのものでした。



担当者コーナー 「学習の定着率を高めるには？」

アウトプットすることを大切に

近年の学習理論によると、インプットよりもアウトプットに重きを置いた方が学習の定着率が上がるといわれています。本校でも教師の話聞くこと(インプット)が中心の受け身の授業から、自分が考えたことを積極的に話したり書いたりして表現(アウトプット)する能動的な授業へと転換を図っているところです。

ご家庭でも、ぜひ子供たちに学校での学習についてお尋ねになり、学んだ内容をアウトプットさせてあげてください。また、漢字や計算の練習、それから学んだことをふりかえる学習なども、やり方によっては、アウトプットする場として有効だと考えられます。

ちなみにアウトプットとインプットの学習では、学習直後に定着率の差は認められないものの、1週間後には差が認められたという実験結果もあるそうです(アメリカ・パデュー大学のカーピック博士)。どんどんアウトプットさせ、学習の定着率を高めていきましょう。(教頭 三益 美千郎)